

トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学 (マレーシア)

国際文化交流学科 国際文化交流学部 嶽 衣織

留学期間 2022. 5. 30～2022. 10. 22

私は6月から公立小松大学の協定校であるマレーシアのラーマン大学で一学期交換留学をしました。そこで今回はラーマン大学での留学生活について紹介したいと思います。

ラーマン大学はカンパーとセランゴールにキャンパスがあり、私はセランゴールのキャンパスで留学していました。カンパーがメインキャンパスなのでセランゴールのキャンパスは比較的小さいですが、マレーシアの中心地であるクアラルンプールから電車で30分程度の位置にあるので授業後や休日に遊びに行くこともできます。

住まいに関して、私は大学から徒歩20分ほどの場所にある寮で生活していました。大学までは寮からバスが出ていたのでそれを利用していました。食堂のようなものは寮にはありませんでしたが、コンビニのようなものはあったので日用品などはそこで調達できます。

私は今回の留学で英語で開講される授業と中国語で開講される授業を履修していました。授業時間は2時間や3時間で、どの授業も授業は課題が多かったですが、先生や友達をサポートのおかげで、1学期という短期間の中で、語学力の向上をはじめ、履修していた授業に関する知識を深めることができました。

最後に、留学を考えている学生さんたちの多くは何かしらの不安があるのではないのでしょうか。私もその中の一人でしたが、交換留学を終えた今、留学でのさまざまな人との出会いや数多くの収穫があったことを考えると、留学前の不安は大したことなかったと感じています。今後より多くの学生さんが、ラーマン大学への留学に興味を持ってくださると嬉しいです。



みんなで描いた壁画の前で



ペトロナスツインタワーの前で